



学校教育の大切さ！！

少し前になりましたが、ニュースで衝撃的な話題を目にしました。「クロールで25m以上泳げる児童の割合は、小学校6年生で男子・女子共に2019年には70%を超えていましたが、2023年には女子46.2%、男子54.3%と急激に減少している。」というニュースでした。見聞きした人も多いことと思います。コロナ禍で水泳指導がなかったことや、最近の夏の猛暑、更にはプール施設の老朽化等が原因ということでした。4年間水泳指導がなかったことで、こんなにも泳げない児童が激増しているということに衝撃を受けました。

コロナ禍の頃、学校では「子どもの学びを止めるな」という言葉がよく言われていました。全国の中学生全員にタブレットが渡され、休みになんでも授業ができる体制作りに必死になっていました。それでも学校で同じ空間で一緒に学ぶ程の効果を見出すのはなかなか難しいことでした。このことから、学校に普通に登校して、みんなで一緒に行う授業がどれ程ありがたいことか、また、日々の授業がとても大切なことであると改めて痛感したところでした。

西小林小との交流学習

西小林小との交流学習がありました。今回は、全校一斉に西小林小へ行きました。学年ごとに分かれ、それぞれの学年の教室に入って学習します。国語や算数、宿泊学習に向けての話し合いなど教科や内容は様々です。みんな緊張しながらも、一生懸命学習に取り組んだり、友達と楽しく過ごしたりしていました。中学校では一緒になる子ども達です。この交流学習をとおして一人でも多くの友達ができるといいですね。



いこまタイム発表会

児童全員で取り組んでいる生駒のよさを発見する活動の第一段階のまとめができたので、保護者、地域の方に来ていただき、発表しました。今回は近くにある「生駒名水」の工場見学についてまとめたものを発表しました。生駒名水の社長様にも来ていただき、発表を聞いていただきました。工場の様子、見学して分かったことや学んだこと、感想等を発表しました。1年生から6年生まで原稿を見る事もなく、身振り手振りを付けて大きな声で上手に発表しました。来ていただいた方々みんなが、その発表の上手さに驚いて、お褒めの言葉をたくさんいただきました。この活動はまだまだ続きます。今後の展開に乞うご期待！



魚つかみ取り

魚のつかみ取りを行いました。学校近くのプールにニジマス、鯉、ウナギを放し、子ども達がキャーキャーと歓声を上げながら、必死に追いかけていました。最初はなかなか捕まえられませんでしたが、次第に上手になり、全ての魚を捕まえることができました。捕まえた魚は親子で捌き、塩焼きにしていただきました。準備から本番までお世話してくださった保護者の方、楽しい時間をありがとうございました。

